

▶出席者全員での記念撮影



7/24
(水)

B&Gプール リニューアル記念式典

老朽化したプールの改修工事を終えて7月24日（水）、B & G 海洋センターにてプールのリニューアル記念式典が行われました。

森安町長、公益財団法人B & G財団朝日田智昭常務理事ほか来賓者によるテープカットが行われたあとは、町内の中学生4人が新しくなったプールを泳ぎ、リニューアルを祝福しました。朝日田常務理事は、「子どもたちの成長する過程で、この施設を利用していただければと思います」と話しました。

▶最上香織さんの講演を聴く参加者



7/5
(金)

公民館高齢者教室合同研修会

公民館高齢者教室合同研修会が7月5日（金）、鬼の館で開催されました。

フリーアナウンサーの最上香織さんを講師に招き、「ある日突然介護の日がやってきた」と題して、ご両親を在宅介護された実体験について講演。参加者78人のなかには、介護の経験をしたことがある人も多く、あらためて健康の大切さを実感しました。

後半では、フィットネスパルのトレーナー清水拓也さんの指導による脳トレ体操を行いました。自宅でも手軽にできる脳トレ体操もあり、参加者は有意義な時間を過ごしました。

▶ベストパフォーマンスを狙う「盆踊り大会」



▶「ちょうだい」と元気いっぱいアピール



7/27
(土)

フェスティバル・ディア・マスミズ

榑水高原で7月27日（土）、フェスティバル・ディア・マスミズが開催されました。

伯耆町を代表する祭りのひとつであるフェスティバル・ディア・マスミズには、町内外の多くの人々が来場し、盆踊り大会や屋台グルメを楽しみました。

ふうせんおじさんのバルーンアートでは、風船を使ってアンパンマンやアナと雪の女王のオラフなどを披露。子どもたちは「すごい！」「ほしい！ほしい！」と大きな声で手をあげてアピールし、大人から子どもまで一緒にパフォーマンスを楽しみました。

フェスティバルの最後には天空花火大会が行われ、色とりどりの光が夜空を照らしました。フィナーレでは観客から大きな歓声が上がリ、夏の思い出に残る特別な1日になりました。

▶和やかな雰囲気で行われた
ボッチャ交流会



7/30
(火)

ボッチャ交流会

障がいについて学びきっかけづくりを目的に7月30日（火）、町民岸本体育館にて身体障がい者福祉協会と小学生がボッチャ交流会を行いました。ボッチャはパラリンピックの正式種目であり、障がいの有無や年齢に関係なく老若男女すべての人が競い合えるスポーツです。ボランティアの中学生を含めた約20人の参加者は、ボールを投げたり転がしたりして、ボッチャを一緒に楽しみました。

▶賞品を受取る優勝者の小林さん



7/28
(日)

きしもと鮎釣り大会

日野川の岸本友釣り専用区域内にて7月28日（日）、第28回きしもと鮎釣り大会が行われ、町内外から46人が参加しました。

この大会は自然・生活・環境など多方面において川を守りながら楽しく、美しい地域環境を育てることを目的に開催されています。鮎35匹を釣り上げた小林さんには、優勝賞品として米30キロ、スイカ、鴨鍋セットが贈呈されました。

▶帽子づくりに挑戦！
何に変身するのかな…？



▶店の前に行列ができる
テラスザダイセン



7/28
(日)

第2回 テラスマルシェ

7月28日（日）、テラスザダイセンにて、第2回テラスマルシェが開催されました。

会場には既存の店舗のほか、名古屋から山陰初出店の『世界の山ちゃん』を含むキッチンカー4台と3店舗の出店がありました。

大山工場のイートインスペースでは、新聞紙やカラフルなガムテープで「かぶりもの」を作って変身する『モンスターをつくらう！』の無料イベントも行われ、多くの親子連れが参加しました。子どもたちは自分で作ったオリジナルの帽子をかぶって大変身。嬉しそうに会場へ出かけていきました。

